

学習内容報告書 フォーマット

学校名	横浜市立みなとみらい本町小学校
授業者	田中雄大

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

5年1組 海の生き物を守り隊 ～ゴミを減らして持続可能な海へ～

1-2. 学年

5年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 理科 社会 道徳

1-4. 単元の概要

5年生は、みなとみらいの海岸環境整備に取り組んできた。当初は、「ゴミを一つ残らずなくしたい。」とゴミをなくすことを意識していたが、空き缶や菓子の袋などが生き物の隠れ家になっていることを、生き物観察を通して気づいた。そして、景観も大事にしつつ、生き物の住処となる海になるようにしようと考えた。

教室にカニ、エビ、ハゼが入っている水槽を作り、生き物が住みやすい環境について、生き物の動きを観察しつつ考えた。みなとみらいを語る会で保護者の方から意見をいただき、「その環境がいいから生き物が集まるので」との意見を聞き、無理の環境変えようとするには生き物へのダメージがあることに気付いた。継続的に高島水際線公園に出入りすることで、四季による景観や生き物の変化を感じ取ることができ、多くの人に海の豊かさとともに問題について関心を広げてほしいと考え、活動を進めた。

1-5. 単元設定の理由・ねらい





本校児童は、みなとみらい地区の高層マンション在住の児童であり、目の前には横浜港が広がっているが、関心は高くはない。また、「みなとみらいの海は汚い」と思っている児童が多くいる。

そこで、みなとみらいの海の現状を調査し、環境改善への取り組みを通して、みなとみらいの海を知りつつ生き物にとっても人にとっても住みやすい海にしようと考えた。そして、海への関心を高めるとともに、公園に漂着するごみやヘドロ・水質悪化といった海が抱える課題について関心をもつきっかけとなってほしいと考えた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

まちの社会課題を把握し、その解決に向けて、繰り返し観察したり調査したりすることを通して、持続可能なまちについて考えたことを、主体的に活動して社会に参画しようとしたり、自分たちの生活をよりよくするために行動しようとしたりしている。

1-7. 単元の展開 (全 15 時間)

時 数	学習活動・主な内容	□教師の指導 / ▲主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 3	<p>○みなとみらいの海の現状を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査をして、水質の比較 ・生き物調査をして、生き物の数・種類の比較 ・ごみの調査をして、量や種類の比較 	<p>□みなとみらいの海の現状を見つめ直すことで、今年度の活動の目標をもたせる。</p> <p>▲まちの持続可能性に対する自分の考えをもち、行動できているのか。</p> <p>(外部連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高島水際線公園愛護会 吉野様
4 ～ 7	<p>○海の環境改善に向けた取り組みを話し合う。</p>	<p>□生き物の視点、人としての視点を考えつつ、海の現状を見直すことで、今年度の活動目標をもてるようにする。</p> <p>▲公園の現状を把握し、これからの活動に活かそうとしているのか。</p>
8 ～ 10	<p>○海の環境改善に向けた考えをまちの人たちに伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもエコフォーラム ・かもめ SCHOOL ・みなとみらいを語る会 	<p>□より多くの人に知ってもらうために、どのようにしたらよいのか、自分の考えをもてるようにする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
11 ～ 14	<p>○学校の水槽の環境改善に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の生態調査 ・生き物が住みやすい環境を教室の水槽で再現し、様子を観察する。 	
15	<p>○近隣校との情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高島水産線公園を活動場所としている幸ヶ谷小学校と情報交換をする。 	
	<p>水槽の維持管理</p>	

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

高島水際線公園での生き物観察やゴミの収集活動を通して、高島水際線公園がどのような様子になれば生き物にとって住みやすい環境になるのかを考え、今後の活動の見通しをもつことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	○教師の指導・支援 / ▲評価の視点（方法）
<p>1 高島水際線公園での活動をしてみて、気づいたことを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったよりも生き物が少なかった。 ・ゴミがたくさんあった。 <p>2 学習のめあての確認をする。</p>	<p>○前回の活動を振り返ることで、全員が同じ話題で話し合うことができるようにする。</p>
<p>高島水際線公園での活動をふりかえり、今後の活動の見通しをもとう</p>	
<p>3 生き物の観察をした感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏頃行ったときにはカニがたくさんいたけど、今回冬に行ってみたらカニがいなかった。 ・臭いがすごかった。 <p>4 ゴミ収集活動をした感想を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック類がたくさんあった。 ・ヘルメットや車のライトなど、意外なものがあった。 ・想像していたよりもたくさんのゴミがあった。 ・ゴミがある中にも生き物がいた。 <p>5 今後の活動計画を考える。</p>	<p>○夏の活動と比べることで、四季による変化にもつながられるようにする。</p> <p>▲これまでの活動と比較し、環境の変化には様々な要因があることを想起しようとしている。</p> <p>○ゴミの多さだけではなく、ゴミの種類についても共有できるようにする。</p>

3. 今回の活動の自己評価

みなとみらいのまちに住みながらも、近くに自然があると感じ子が少なく、豊かな水際資源があることに気づいていなかった。そこに目をつけて、地域の環境改善への意識を高められたのは今回の活動の成果といえる。特に、地元の海に住んでいる生き物に興味をもつことができたのは、地域への愛着、身近な自然を大切にしようとする視点をもてたことは、とても大きいことであった。また、校内に設置した水槽を管理するために、生き物を増やしたり、当番活動を決めたりして、皆でみなとみらいの海・生き物を守ろうとする気持ちをもてていたように見えた。来校した保護者や地域の方も水槽の前で足を止めて見せることができ、地域の人たちへの発信もすることができた。

また、同じ高島水際線公園を活動拠点としている近隣校の4年生とリモートでつなげ、それぞれがどのような活動をしているのか情報交換を行った。今後も持続した活動をしていくこと、情報を共有しつつ環境改善への協力をしていくことの確認をした。

そのほかにも、地域イベントにおける発表や保護者を招いた発表など、様々な方へ子どもたちの思いを届けることができ、子どもたちの思いを広げることができたといえる。

4. 今後の課題

今回は一昨年度までの6年生が管理していた学校の水槽を活用及び管理をしてきた。一昨年度の6年生が卒業する時にも課題に挙がったが、水槽の管理を引き継げるようにしなければいけない。本学年が来年度も海をテーマとした学習した際も、多くの学年・学級が興味をもち、実際に高島水際線公園や臨港パークといったまちに存在する自然の材と親しめるようにしなければいけないと考える。

水槽の維持管理を通して、生き物が住む海についての関心を広げ、海の抱える課題の解決に向けて行動できる子を育てていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。